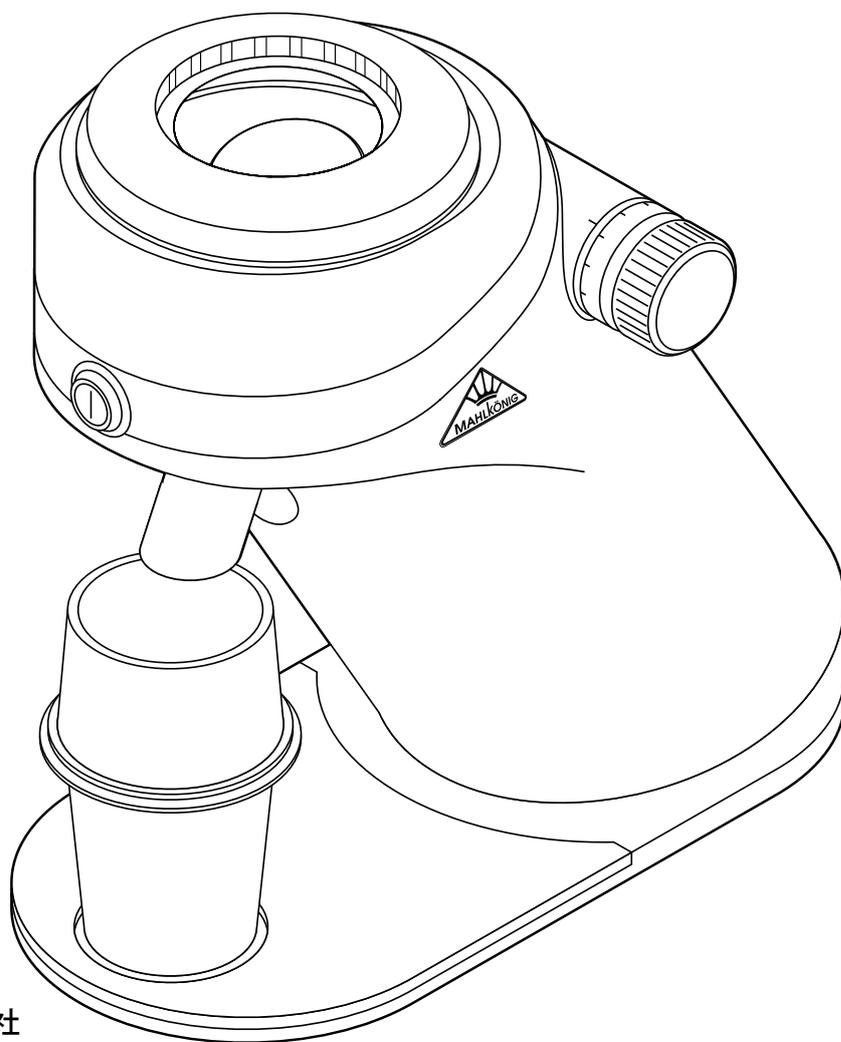


ホームグラインダー X64 SD

取扱説明書 / 保証書

X64 SD

ALLROUND HOME GRINDER



メリタジャパン株式会社

 0570-550267

受付時間：9:00~12:00 / 13:00~17:30
(土日祝日・年末年始を除く)


メリタジャパン

はじめに

このたびは、「マールクーニック ホームグラインダー-X64SD」をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。この製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」(P3~6)をよくお読みください。また、この製品の優れた機能を十分ご理解いただくためにも取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書／保証書(本書)は大切に保管してください。



本製品は運動機能に制限のある方や操作方法が十分に理解できない方でも、動作をフォローしていただける方と一緒に操作することで安全にお使いいただくことができます。また、指先にしびれのあるような感覚が十分でない方も、同様にフォローしていただける方と一緒に操作することで安全にお使いいただけます。

目次

1	製品の特徴	P 2	6	グラインドディスクの0点調整	P15
2	安全上のご注意	P 3	7	クリーニング	
3	製品概要		7.1	クリーニング前の注意事項	P16
3.1	各部名称	P 7	7.2	グラインダー底部のクリーニング	P17
3.2	付属品	P 7	7.3	本体のクリーニング	P17
3.3	使用場所	P 8	7.4	スパウトのクリーニング	P18
3.4	電源の接続	P 8	7.5	ホッパーとホッパーアタッチメントのクリーニング	P19
3.5	グラインダーの仕組み	P 9	7.6	グラインダー内を洗剤で清掃する	P19
4	スタートガイド 初回起動		8	仕様	P20
4.1	グラインダーと納品内容を確認する	P10	9	トラブルシューティング	P21
4.2	グラインダーを置いて、接続する	P11	10	メンテナンスと修理	P22
4.3	はじめて使用する前に	P11	11	別売品	P23
5	グラインダーの使用		12	保証規定(保証書)	P24
5.1	ホッパーアタッチメントの装着/取り外し	P12			
5.2	豆の投入	P13			
5.3	挽き目の調整	P13			
5.4	豆挽きの開始/停止	P14			
5.5	エアダスター(コーヒー粉残り除去)の使用(コーヒー豆の種類の変更)	P14			

1 製品の特徴

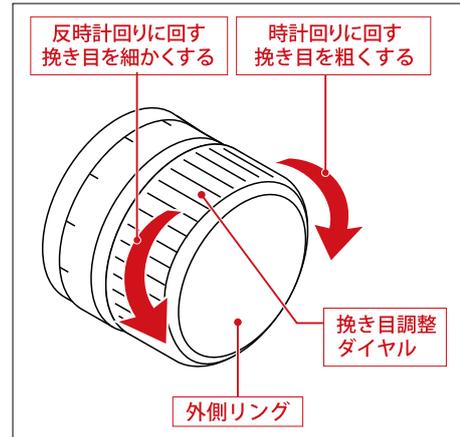
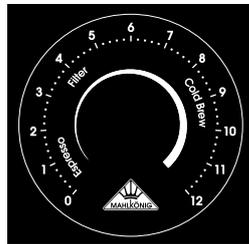
80年以上の歴史を誇り、業務用グラインダーの代名詞的存在となっているドイツのリーディングブランド「マルクーニク」。「X64SD」は、マルクーニクが家庭用に開発したオールラウンドホームグラインダーです。

あらゆる抽出方法にマッチする挽き目調整ダイヤル

挽き目調整ダイヤルを使い、目的の挽き目を0から12のレンジで無段階で調整可能です。

挽き目の目安

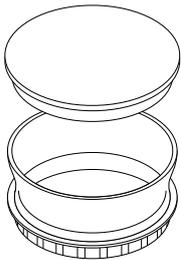
エスプレッソ	0 ~ 2
ドリップコーヒー	3 ~ 5
水出し/フレンチプレス	...	6 ~ 12



3種類のホッパーアタッチメント

本グラインダーには、以下の用途に応じた3種類のホッパーアタッチメントが付属しています。

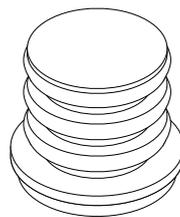
① コーヒー豆ホッパー 100g



- ・豆を購入した際のまとめ挽き
- ・淹れる杯数が多いとき

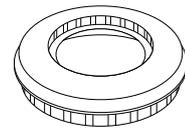
*トップカバーは同ホッパーおよびグラインダー本体のホッパーのカバーとして使用可能

② エアダスター (コーヒー粉残り除去)



- ・コーヒー豆を挽ききった後に残っているコーヒー粉を混ぜたくないとき
- ・グラインダー内部の簡易清掃
- ・天面のフタからコーヒー豆を入れて80g容量のホッパーとしてもご使用いただけます。

③ コーヒー豆 ポップアップブロック



- ・豆を挽くときのコーヒー粉の飛散を抑える



挽き目の調整は、必ずモーターが作動している状態で行ってください。
とくに目盛りを1目盛り以上変更する場合(例:2から1へ)にはご注意ください。停止中に挽き目を調整すると、詰まりが生じたり、グラインドディスク、モーター、ギアの損傷につながるおそれがあります。
このような二次的損害は保証の対象外となります。

2 安全上のご注意

ご使用前によくお読みのうえ、
正しくお使いください。

誤った取り扱いをしたときに想定される内容を
「警告」と「注意」に区分して説明しています。



警告 死亡や重傷を負う恐れがある内容



注意 傷害を負う可能性や物的損害の
発生が想定される内容

お守りいただく内容の種類を
下の図記号で説明しています。



してはいけない内容



必ず守ること



警告

死亡や重症に繋がる火災、感電、大けがを防ぐために

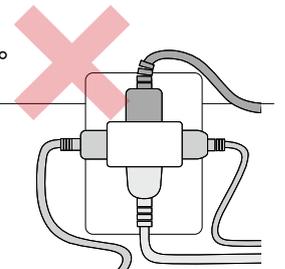
電源について 守らないと火災・感電の原因になります



● 定格15A以上のアース端子付きの壁コンセントに本機単独で直接差し込む。



- 交流100V以外では使用しない。
- コンセントを他の器具と併用しない。
- 延長コードの使用やタコ足配線をしない。



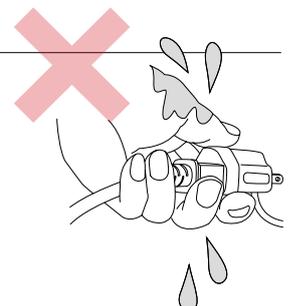
電源プラグ 従わないと感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります



- 電源プラグのほこりなどの汚れは、プラグをコンセントから抜き、乾いた布で定期的に拭き取る。
- 電源プラグを抜くときはコードを持たず、プラグ本体を持って抜き差しする。
- 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。



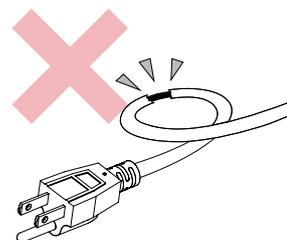
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
- 電源プラグに水滴をつけたり、洗剤液などの液体に浸けたりしない。
- 電源プラグの差し込みが緩いときは使用しない。
- 電源プラグにピンやごみを付着させない。
- 電源プラグを舐めない。



電源コード 気をつけないと感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります



- 電源コードを傷つけない。
- 電源コードが傷んでいるときは本機を使用しない。
- コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしない。
- 電源コードは束ねたり、無理に曲げたり、端が鋭い場所の上に置かない。
- 電源コードを持って本体を運ばない。



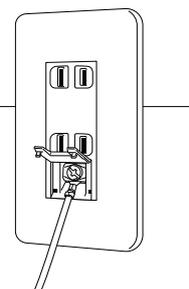
アース 接続しないと漏電時に感電の恐れがあります



- プラグアダプタのアース線は必ず壁コンセントのアース端子に接続する。



- アース線は延長しない。
- アース線は水道管、ガス管、建物の金属部分に接続しない。



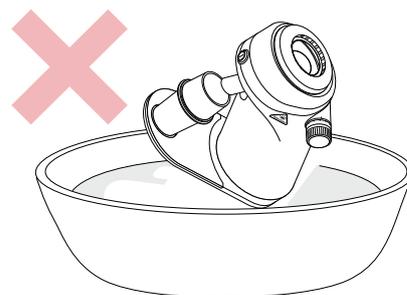
本体 正しく扱わないと感電・火災・けがの原因になります



- 異常を感じたり、故障したりした場合は直ちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて使用を中止する。
- 電源プラグやケーブルが傷んでいたたり、故障や異常があった場合は使用を中止し、メリタジャパン お客様相談室に連絡する。



- 運転中にフタを開けてホッパー内部の豆やカッターに触れたり、顔を近づけたりしない。
- 改造しない。
- 自分で分解・修理はしない。
- 自分で電源プラグを取り替えない。
- 本体を水に浸けたり、水をかけたりしない。
- 本体を持ち運ぶ際、電源プラグを持ち手としてつかまない。
- 濡れた手で電源スイッチを入れたり、本体・電源プラグに触れたりしない。



子供 守らないと事故の危険があります



- 子供だけで使用させない。
- 包装フィルムで子供が遊ばないように注意する。



- 子供の手の届くところで使用しない。
- 子供の手の届くところに保管しない。



注意

使用者や子供のけが、家屋や家財の損傷、製品の故障を防ぐために

子供・乳幼児 守らないとやけどや感電の危険があります



- 子供が本機で遊んだり、グラインダーに異物を入れたりしないように注意する。
- 電源コードを子供が引っ張らないように注意する。
- 乳幼児が誤って電源プラグを舐めないように注意する。
- 運転中は、乳幼児が本機に近づかないように注意する。
- 乳幼児がパーツ類で遊んだり、小さな部品を飲み込んだりしないように注意する。

使い方 守らないとやけどや感電の危険があります



- 取扱説明書をよく読んで操作を理解してから使用する。
- 使用しない時は電源プラグを抜く。
- 運転中は本機の前から離れない。
- 操作方法や取扱説明書の内容を十分に理解できない人、運動機能に制限のある人、感覚が鈍っている人はサポートしてくれる人と一緒に操作する。
- 使用前にホッパーに異物が入っていないか確認する。



- 本機の操作方法を理解していない人には一人で使わせない。
- ガスレンジまたはストーブなど暖房器具の近くやホットカーペットの上で使用しない。
- 湿気の多い場所では使用しない。
- 屋外では使用しない。

使い方 守らないと故障の原因になります



- アタッチメントを持って本体を持ち上げない。
- コーヒー豆を入れたまま長期間放置しない。
- 連続使用や業務用途では使用しない。
最大許容最運転サイクルを守って使用する(P.20「8.仕様」参照)。
- ホッパーからコーヒー豆をあふれさせない。
- ホッパーにローストしたコーヒー豆以外のものを入れない。
- ローストしたコーヒー豆を挽く以外の目的で使用しない。
- 製品の付属品またはメリタジャパンが推奨しているアタッチメント以外は使用しない。
- モーターが停止している時に挽き目調整ダイヤルを動かさない。

本体 正しく扱わないと感電・火災・けがの原因になります



- パーツの取り付け・取り外しを行うときは、スイッチを切り、電源プラグを抜いてから行う。
- 電源コードが熱を持ったものに触れたり、近づかないように注意する。



- 落としたり、硬いものにぶつけない。
- 電源を入れたまま放置しない。使用後には電源を切る。

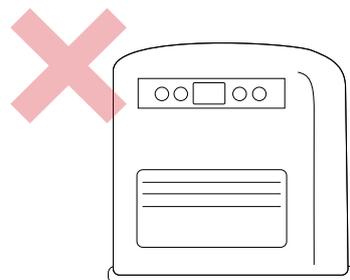
使用場所 守らないと感電・火災・けがの原因になります



- 頑丈なテーブルなど安定した平らな家具の上に置いて使用する。
- コードがテーブルやカウンターの端にかからないようにする。
- 本体、コード、電源プラグに水がかからないような場所に置いて使用する。
- 異常時に電源プラグをすぐ抜けるようにコンセントの近くで使用する。
- 開梱時や梱包時に落としたり、硬いものをぶつけないよう注意する。



- 不安定な場所で使用しない。
- 傾いた場所や高い場所で使用しない。
- オープン、暖房器具、コンロなど熱源の近くに置かない。
- 湿気の多い部屋や流し台の近くに置かない。



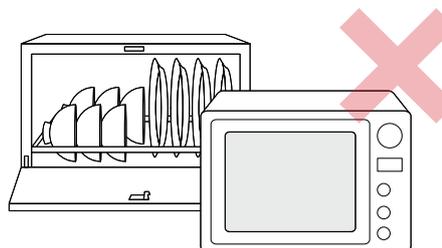
お手入れ 守らないと感電・故障の原因になります



- お手入れは取扱説明書の指示に従い、パーツを取り外して行う。
- お手入れは電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから行う。



- パーツ類は食器洗い乾燥機で洗浄/乾燥しない。
- パーツ類の乾燥に電子レンジを使わない。
- 本体に直接水をかけない。
- カッターは鋭利なため直接手で触れない。



廃棄 守らないと近隣・行政の迷惑になります

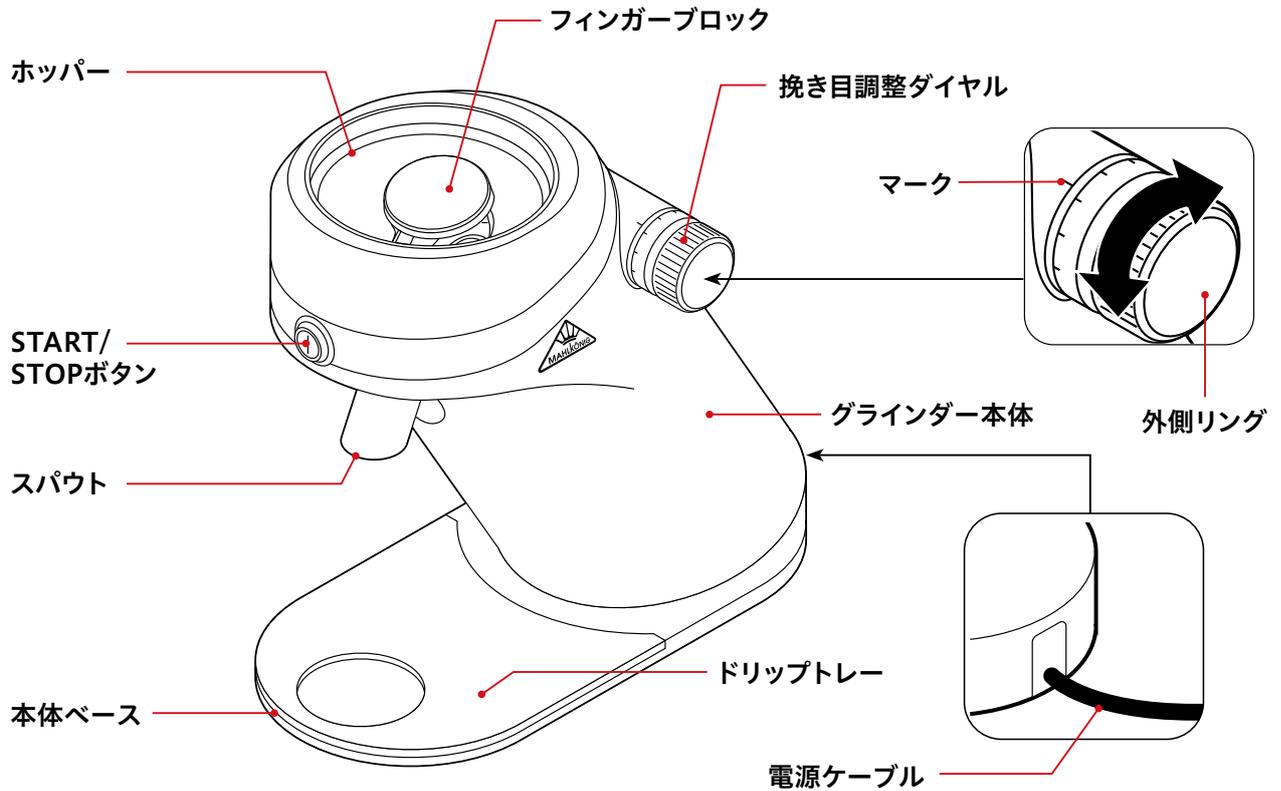


- 廃棄する場合は市町村のごみ出し基準に従う。

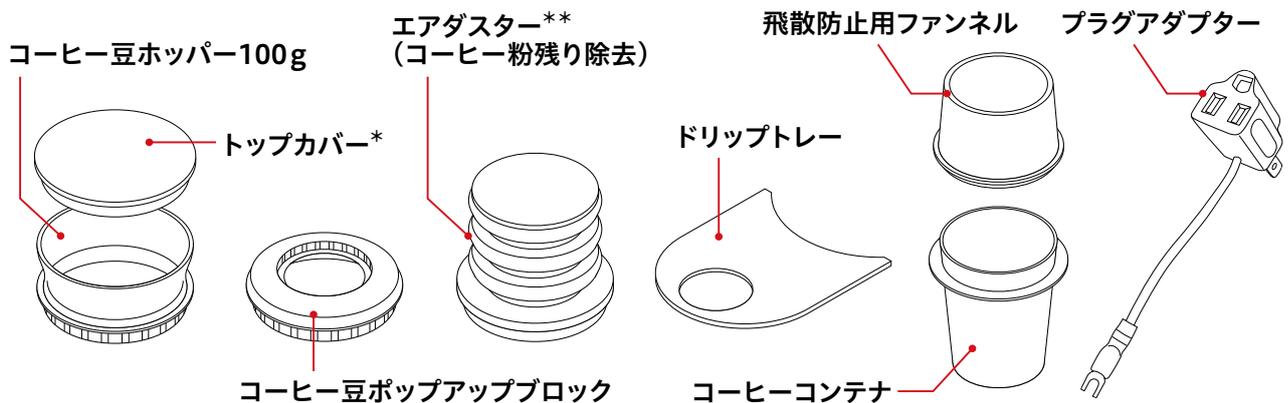
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15

3 製品概要

3.1 各部名称



3.2 付属品



* トップカバーはコーヒー豆ホッパー100gおよびグラインダー本体のホッパーのカバーとして使用可能

** 天面のフタからコーヒー豆を入れて80g容量のホッパーとしてもご使用いただけます。

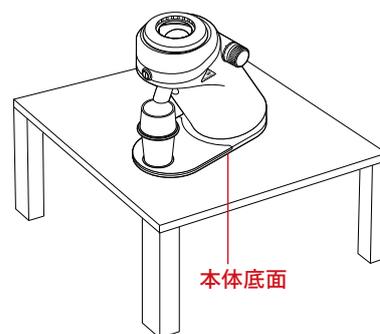
注意

- 本体を取り出すときに直接カッターに触れないように注意してください。カッターの刃は非常に鋭利なため、直接触れるとケガをする恐れがあります。
- 本体やパーツ類に損傷があったり、その疑いがある場合は使用せず、メリタジャパンお客様相談室にご連絡ください。

3.3 使用場所

グラインダーの使用場所には以下の条件を満たす場所を選んでください。

- 表面が水平で安定しており、振動がない。
- 滑りにくく、乾いている。
- 電源接続用のコンセントが手の届くところにある。
- 小さな子供がグラインダーと電源コードに触れないようになっている。

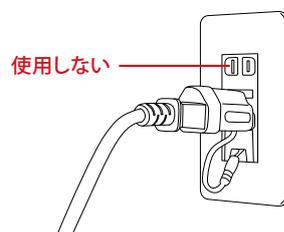


Information

一部の洗浄剤には、グラインダー底部のゴム製パーツを劣化させる成分が含まれている場合があります。その結果、グラインダーの安定性が損なわれる恐れがあります。そのため設置台の清掃は、水と刺激の少ない洗浄剤のみを使用してください。

3.4 電源の接続

- 電源プラグは壁コンセントに単独で差し込んでください。
- 壁コンセントの余っている差し込み口には何も接続しないでください。



Information

電源プラグを接続する壁コンセントは、使用中にすぐに手の届く場所に接続してください(使用中に異常が起きた場合は電源プラグをすぐに抜いてください)。



注意

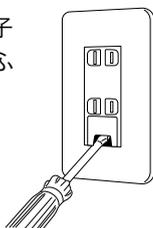
電源コードは子供の手が届かない場所に通してください(子供が引っかけて、グラインダーが落下すると大ケガをする恐れがあります)。

アース線の接続

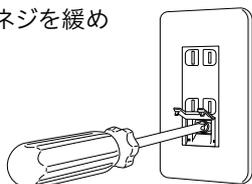
電源プラグは必ずアース線付きの壁コンセントに接続してください。

ネジ式アース端子の接続方法

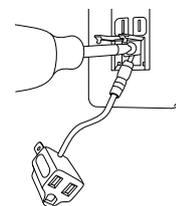
- ① マイナスドライバーをアース端子の穴に入れて上に持ち上げるとふたが開きます。



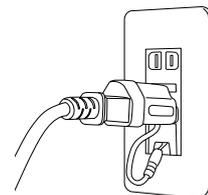
- ② プラスのドライバーでネジを緩めます。



- ③ プラグアダプターのアース端子を下から差し込み、プラスのドライバーでネジを締め固定します。フタをパチンと音がするまで押して閉めます。



- ④ プラグアダプターに電源プラグを差し込み、プラグアダプターを壁コンセントに差し込みます。



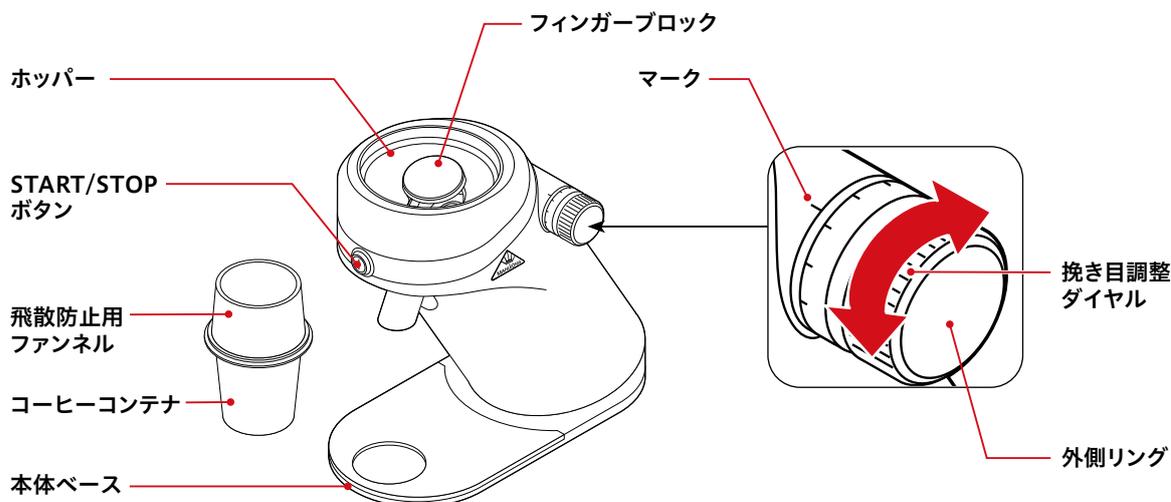
注意

アース線の接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。

3.5 グライNDERの仕組み

本グラインダーは、主に少量または1杯ごとの豆挽きを行うために設計されています。ホッパーのフィンガーブロックは、グラインド機構への直接の接触を防ぎ、誤って手を差し入れるなどによるけがを防止します。このグラインダーでは、エスプレッソ豆やコーヒー豆を細挽きから粗挽きまで、さまざまな挽き目に調整して挽くことができます(P.13「挽き目の調整」参照)。挽き目の調整は、側面の挽き目調整ダイヤルを使用して行います。

コーヒー豆の計量や投入には、付属のコーヒーコンテナをご使用ください。挽いたコーヒー粉を受けるには、付属の飛散防止用ファンネルをコーヒーコンテナに付けてご使用ください。挽き時間は、START/STOPボタンを押して手動で操作してください。最大豆挽き時間は、1回当たり6秒です。



挽き目の調整は、必ずモーターが作動している状態で行ってください。特に、目盛りを粗挽きから細挽きに変更する場合(例:2から1へ)にはご注意ください。停止中に挽き目を調整すると、詰まりが生じたり、グラインドディスク、モーター、ギアの損傷につながるおそれがあります。このような二次的損害は保証の対象外となります。



【重要】モーターは、最大6秒の運転と54秒の休止を繰り返すように設計されています(60秒サイクルにおける稼働時間10%)。短時間であればこの制限を超える運転も技術的には可能ですが、推奨されていません。繰り返し、または長時間にわたり制限を超えて使用すると、モーターが過熱するおそれがあります。この場合、内部部品を保護するためにモーターは自動的に停止します。不適切な使用により生じた損害は、保証対象外となります。



注意 ホッパー部分を持って持ち上げると、ホッパーが抜けて本体が身体にあたり、思わぬけがをすることがあります。必ずグラインダー本体部を持って移動させてください。

4 スタートガイド 初回起動

4.1 グライNDERと納品内容を確認する

- 1 グライNDERとすべての付属部品を梱包から取り出します。
- 2 納品物がすべて揃っていることを確認します(図A参照)。
- 3 グライNDERおよび各部品に破損がないか確認してください。破損がみられる場合、グライNDERを使用しないでください。この場合、グライNDERを購入した販売店、またはメリタジャパン株式会社お客様相談室にお問い合わせください。→ P.22 …「メンテナンスと修理」参照

破損のおそれがあります



注意

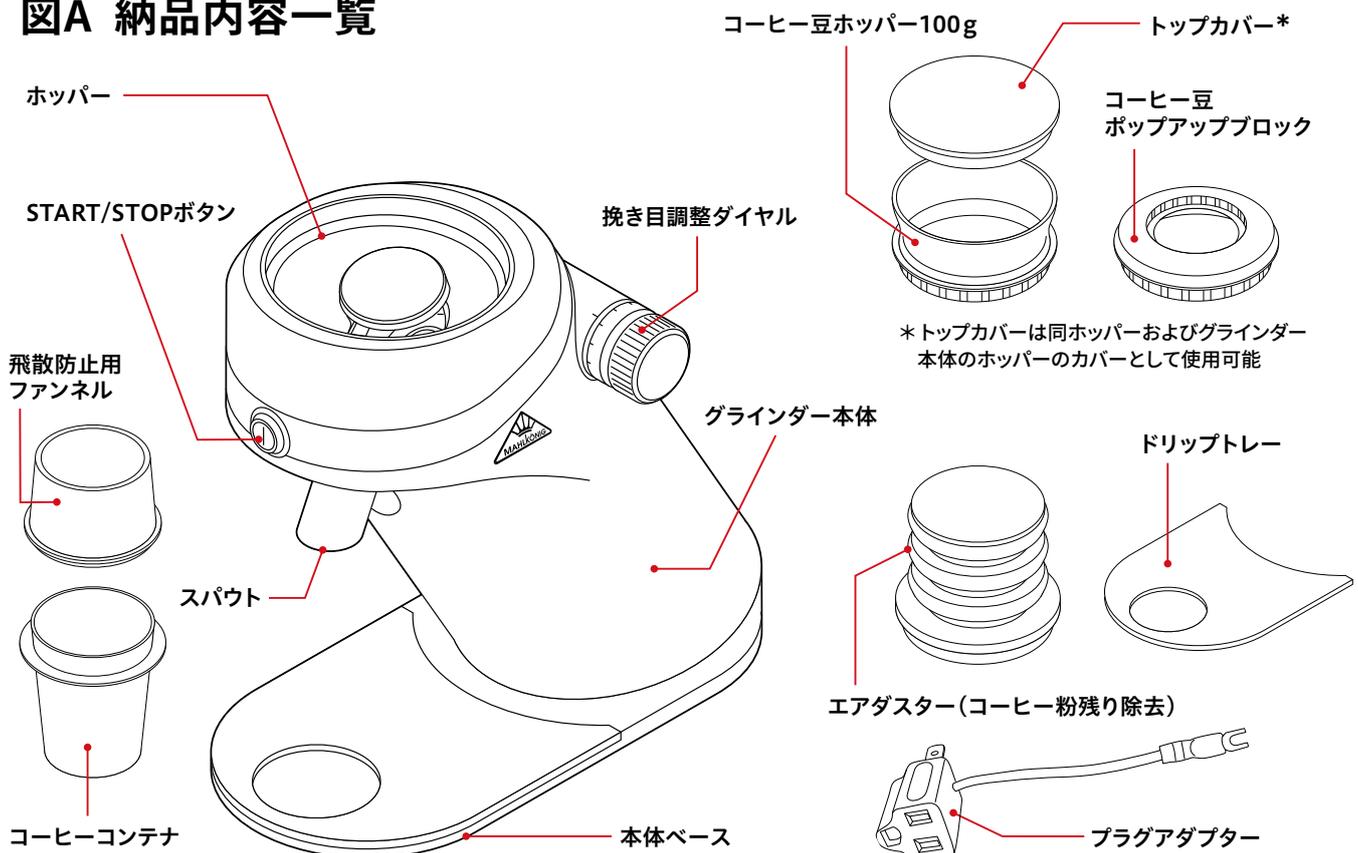
鋭利なもの(ナイフなど)を使用して、注意を払わずに開梱したり、梱包材からグライNDERを持ち上げる際に適切に扱わなかった場合、グライNDER本体および付属品が損傷する可能性があります。開封時は十分に注意してください。



Information

グライNDERを梱包から取り出す際や移動したり、設置場所を変更したりする際は、必ず本体を両手で持ってください。

図A 納品内容一覧

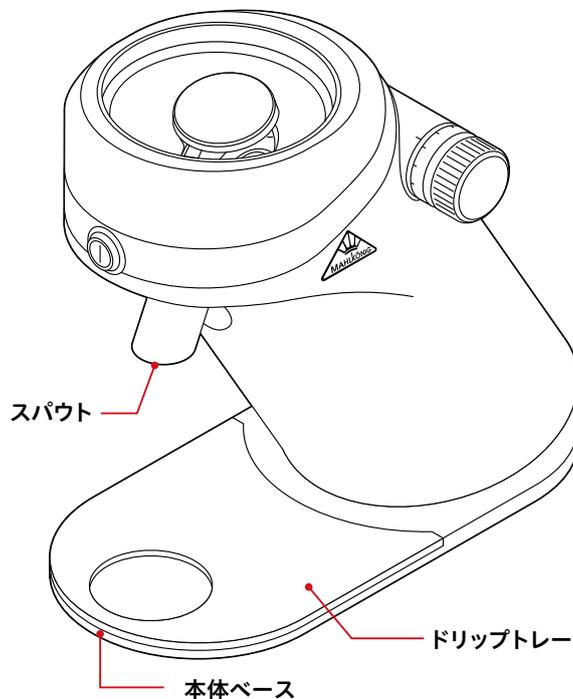


4.2 グライNDERを置いて、接続する



グラインダーを梱包から取り出す際や使用場所を変更したりする際は必ず本体を両手で持ってください。

- 1 グラインダーを希望の使用場所に置きます。
グラインダーは十分な耐荷重のある台に設置し、ぐらつかないようにしてください。
- 2 スパウトは、下からグラインダー本体に差し込み、反時計回りに回してから軽く下に引き、確実にロックされていることを確認します。
- 3 ドリフトレーは、グラインダー前面のスパウト下にある本体のくぼみに差し込みます。
ドリフトレーはマグネット式でグラインダーくぼみの正しい位置で保持されます。
- 4 ご希望のホッパーアタッチメントを取り付けます。
→ P.12 …「ホッパーアタッチメントの装着」参照
- 5 電源プラグを付属の電源プラグアダプターに装着して電源に接続し、アース線につないでください。



4.3 はじめて使用する前に

- 1 はじめて使用する前に、少量のエスプレッソ豆またはコーヒー豆を挽いてください。
- 2 エアダスター（コーヒー粉残り除去）を用いて、ホッパーのフィンガーブロックおよびグランド機構内に残ったコーヒー粉を除去してください。
→ P.14 …「エアダスター（コーヒー粉残り除去）の使用（コーヒー豆の種類の変更）」参照



本グラインダーは、出荷前に念入りの動作試験が行われているためコーヒー粉が残っている場合があります。

5 グライNDERの使用

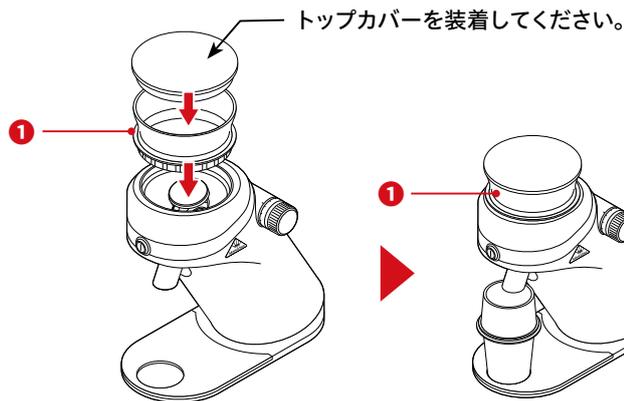
5.1 ホッパーアタッチメントの装着／取り外し

本グラインダーには、用途に応じて使い分けられる3種類のホッパーアタッチメントが付属しています。

1 豆購入後のまとめ挽きに

① コーヒー豆ホッパー100g

コーヒー豆を挽く頻度が多い方に便利です。



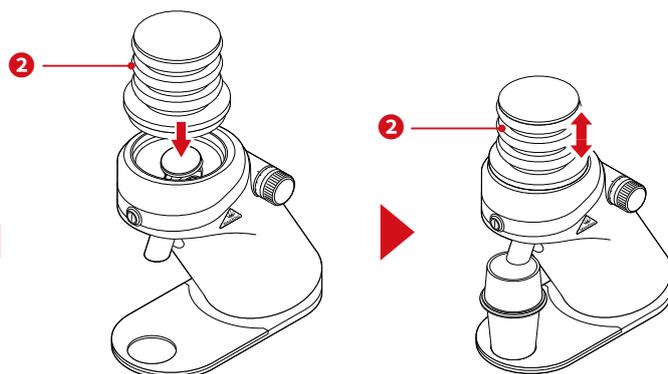
2 豆の種類を変えたいとき 古いコーヒー粉を混ぜたく ないときに

② エアダスター(コーヒー粉残り除去)*

グラインダー内部に残ったコーヒー粉を吹き出すために使用します。

→ P.14 …「エアダスター(コーヒー粉残り除去)の使用(コーヒー豆の種類の変更)」参照
それまでの豆挽きで残ったコーヒー粉が混ざって風味が悪くなるのを避けるのに便利です。

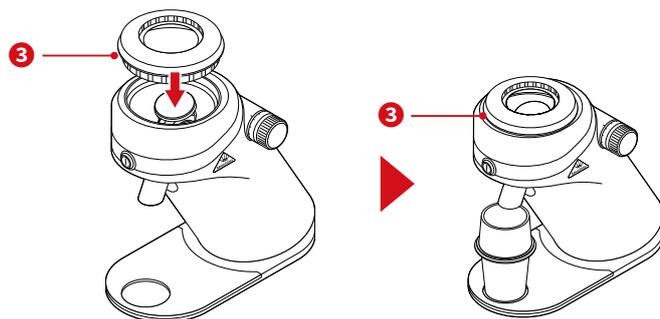
*天面のフタからコーヒー豆を入れて80g容量のホッパーとしてもご使用いただけます。



3 都度挽きの飛散軽減に

③ コーヒー豆ポップアップブロック

焙煎済みコーヒー豆を最大30gまで挽くことができます。また、豆がグラインド機構から飛散するのを防ぎます。



ホッパーアタッチメントの装着

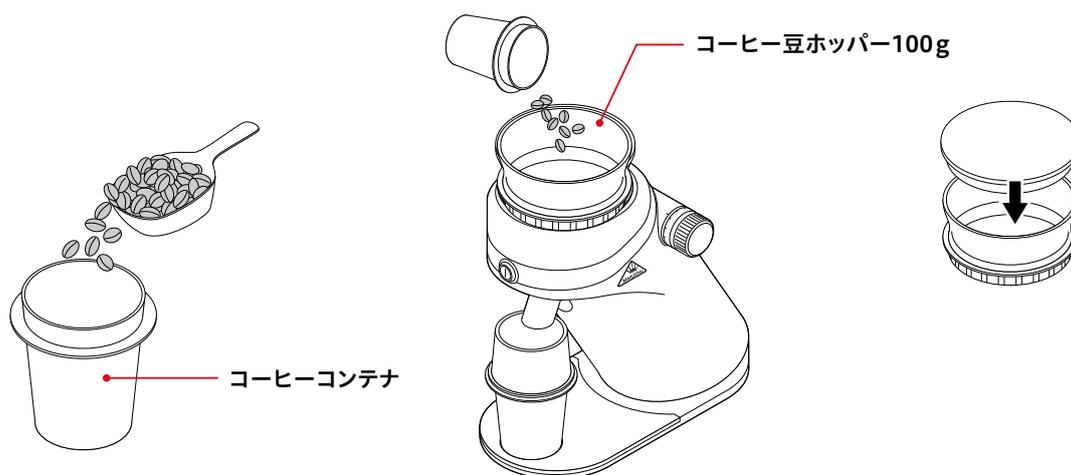
ご希望のホッパーアタッチメント(コーヒー豆ホッパー100g、エアダスター(コーヒー粉残り除去)、コーヒー豆ポップアップブロック)を、ホッパーの上から取り付けます。各ホッパーアタッチメントは、必ず上からまっすぐにホッパーに差し込み、正しく装着されていることを確認してください。

ホッパーアタッチメントの取り外し

ホッパーアタッチメントは、上方向に引き抜いてホッパーから取り外します。

5.2 豆の投入

- 1 ご希望の豆の量(エスプレッソ豆または焙煎済みコーヒー豆)をコーヒーコンテナに入れます。最適な結果/最適な分量を得るためには、デジタルコーヒースケールを使用して豆の量を正確に計量してください。
- 2 使用するホッパーアタッチメント(コーヒー豆ホッパー100g/コーヒー豆ポップアップブロック)の投入口からコーヒーコンテナの豆をホッパーに投入します。
- 3 コーヒー豆ホッパー100gを使用する場合は必ず投入口をトップカバーで閉じてください。



5.3 挽き目の調整

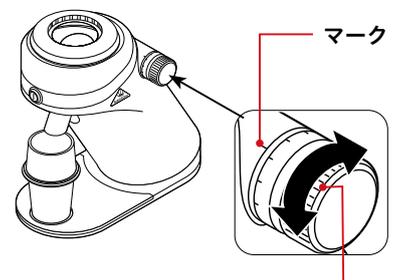


Information

側面の挽き目調整ダイヤルを使用して、ご希望の挽き目を無段階に調整できます。挽き目目盛りの最小値は「1」(細挽き用)、最大値は「12」(粗挽き用)です。挽き目調整の目安として、トップカバーの裏には3種類の抽出方法(エスプレッソ、ドリップコーヒー、コールドブリュー)に合わせた挽き目の目安が記載されています。

ご希望の挽き目目盛りがマークの位置に合うように挽き目調整ダイヤルを回します。

- 時計回りに回す：挽き目がより粗挽きになります。
- 反時計回りに回す：挽き目が細挽きになります。

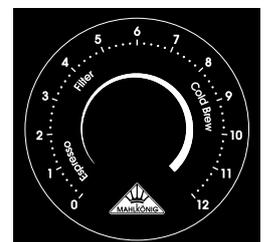


挽き目調整ダイヤル



Information

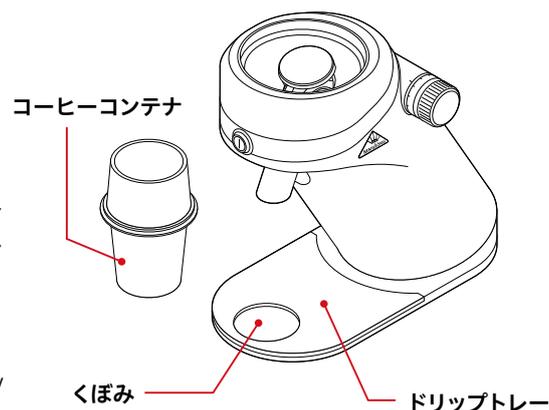
挽き目の調整は、必ずモーターが作動している状態で行ってください。特に「1目盛り」以上変更する場合(例:2から1へ)にはご注意ください。停止中に挽き目を調整すると、詰まりが生じたり、グラインドディスク、モーター、ギアの損傷につながるおそれがあります。このような二次的損害は保証の対象外となります。



5.4 豆挽きの開始／停止

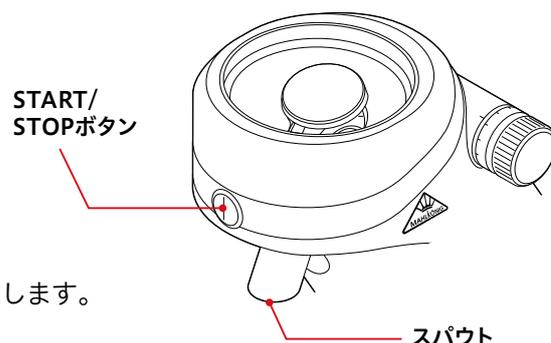
豆挽きの開始

- 1 飛散防止用ファンネルを付けたコーヒーコンテナを、スパウトの下にある所定の位置に置きます。所定の位置には、ドリフトレーにわずかなくぼみが設けられています。容器の開口部がスパウトの真下に位置するように配置します。
- 2 START/STOP ボタンを押して、豆挽きを開始します。START/STOP ボタンがロックされ、豆挽きが始まります。



豆挽きの停止

- 1 START/STOPボタンを押します。
- 2 START/STOPボタンのロックが解除され、豆挽きが停止します。

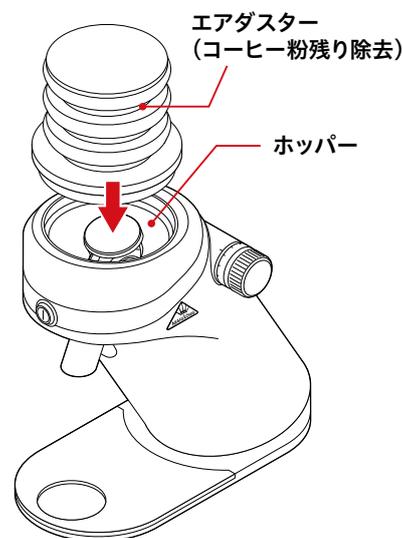


5.5 エアダスター（コーヒー粉残り除去）の使用（コーヒー豆の種類の変更）

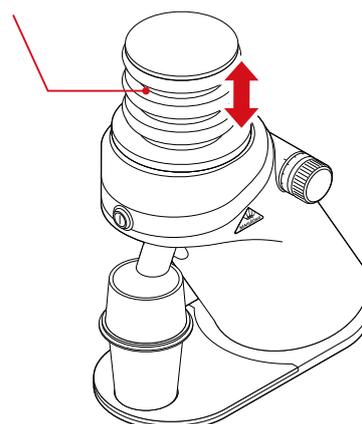


エアダスター（コーヒー粉残り除去）を使用して、グラインダー内部に残っているコーヒー粉を取り除きます。これによりコーヒー豆の種類を変える時に、グラインダーをクリーニングするなどの手間をかけることなく、極力種類の異なるコーヒー粉が混ざるのを防ぐことができます。

- 1 エアダスター（コーヒー粉残り除去）をホッパーの上から取り付けます。エアダスター（コーヒー粉残り除去）が上からホッパーにまっすぐ差し込まれ、正しく固定されていることを確認してください。
- 2 エアダスター（コーヒー粉残り除去）は、付属の蓋で上部を閉じます。
- 3 エアダスター（コーヒー粉残り除去）を上から押し込み、その後ゆっくりと元の位置に戻す動作を繰り返します。この操作を数回繰り返し、ホッパーのフィンガーブロックおよびグランド機構内に残っているコーヒー粉を取り除きます。



エアダスター（コーヒー粉残り除去）



6 グラインドディスクの0点調整

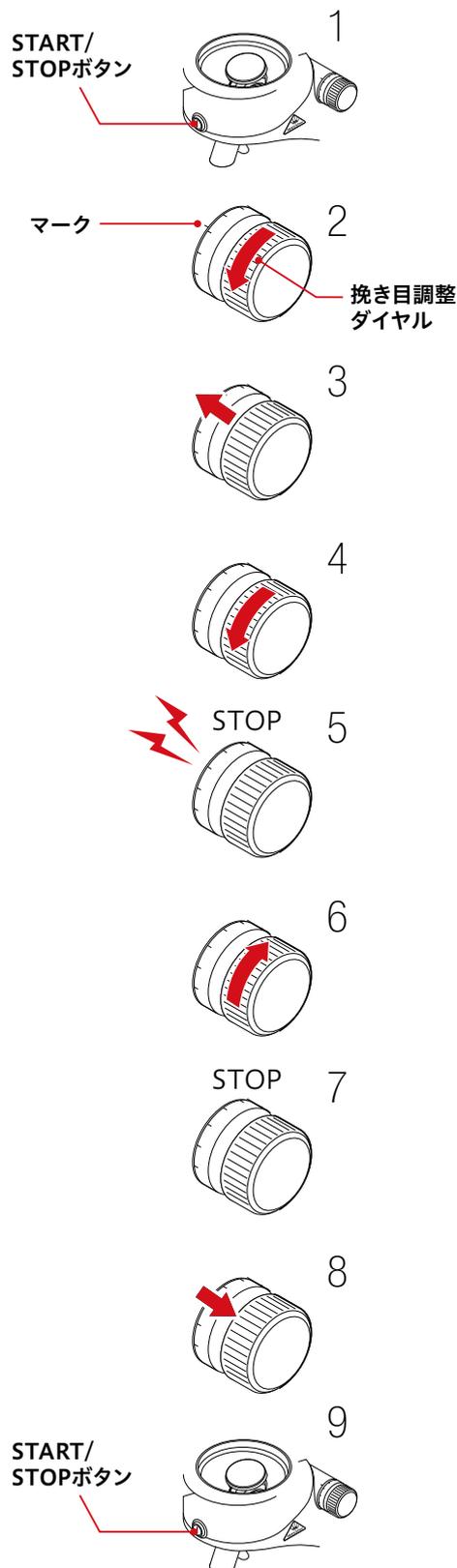
挽き目が適切な細かさにならない場合は、グラインドディスクの0点調整を行うことができます。

- グラインドディスクを交換した後
- グラインド機構を念入りに清掃した後

挽き目目盛りの最大値(「12」)でも適切に粗挽きされない場合には、グラインドディスクの0点調整を行って改善する必要があります。

調整方法

- 1 グラインダーをオンにします。
→ P.14 …「豆挽きの開始」参照
- 2 挽き目調整ダイヤルを最小設定まで回し、目盛りマークが挽き目目盛り「1」を示すように調整します。
- 3 挽き目調整ダイヤルの内側リングをグラインダー本体の方向へ押し込み、そのまま保持します。
- 4 挽き目調整ダイヤルの外側リングをグラインドディスクが接触するまで反時計回りにゆっくり回します。
グラインドディスクが接触するときには「擦れる音」が発生します。
- 5 擦れる音が聞こえたら、すぐに反時計回りに回すのを停止します。
- 6 その後、挽き目調整ダイヤルの外側リングを時計回りにゆっくりと戻し、擦れる音が消える位置まで調整します。
- 7 擦れる音が完全に消えたら、時計回りに回すのを止めます。
これでグラインドディスクは0点調整されました。
- 8 内側リングをグラインダー本体方向に押し続けるのをやめるか、または内側リングを引き戻して外側リングに固定されるように設定します。
- 9 グラインダーをオフにします。
→ P.14 …「豆挽きの停止」参照



7 クリーニング

7.1 クリーニング前の注意事項

けがのおそれがあります



注意

移動の際にグラインダーが落下してけがをするおそれがあります。

- グラインダーは常に傾かない安定した台の上に置いてください。

ショートする危険があります



注意

グラインダーに水を入れるとショートの原因となるおそれがあります。

- いかなる場合にも、グラインダーを水やその他の液体に浸さないでください。
- グラインダーをウォータージェットやスチームクリーナーで洗わないでください。
- この他にも、水や液体がグラインダー本体内部に入らないよう注意してください。
- グラインダーの清掃に圧縮空気を使用しないでください（例：エアブローの使用）。

破損・色落ちのおそれがあります



注意

不適切な取り扱いをした場合、グラインダーが破損・色落ちするおそれがあります。

- 強力な洗浄剤、鋭利な刃物（ナイフ等）や金属製清掃用具（金属たわし等）を使用しないでください。このような用具等を使用すると、グラインダー表面に傷をつける可能性があります。
- ドリップトレイ、スパウト、ホッパーの付属品（蓋を含む）を食器洗い乾燥機に入れしないでください。これらの部品は食器洗い乾燥機に適しておらず、破損・色落ちする可能性があります。
- グラインダーを持ち上げる際は、必ず本体を両手で持って行ってください。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

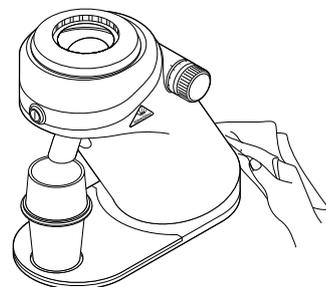
15

7.2 グライNDER底部のクリーニング



清掃を行う前には必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 1 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 2 グライNDER本体を両手で持ち上げ、別の清潔な場所に置いてください。
- 3 湿らせた布で設置台、グラインダーの底部と背面を清掃し、表面を乾かします。表面を乾燥させ、油分や脂肪が付着しないようにしてください。



グラインダーを清掃した設置台に再度水平に立てて置いてください。



一部の洗剤には、グラインダー底部のゴム製パーツを劣化させる成分が含まれている場合があります。その結果、グラインダーの安定性が損なわれるおそれがあります。そのため、設置台の清掃には水と食器用中性洗剤を使用してください。

7.3 本体のクリーニング

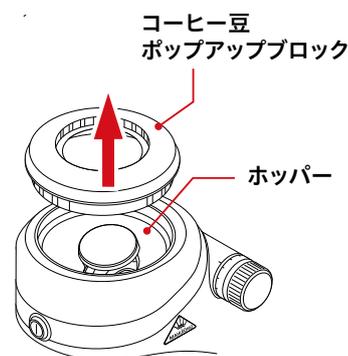


グラインダーは必要に応じて清掃してください。ただし、少なくとも週1回は以下の手順に従って清掃してください。



- 本体内部に洗剤液や水が入らないように注意してください。
- 住宅用洗剤や金属たわしなどの清掃用具は使用しないでください。
- 食器洗い乾燥機は使用しないでください。
- アタッチメントを持って本体を持ち上げないでください。

- 1 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 2 必要に応じて、グラインダー本体のホッパーに取り付けられているホッパーアタッチメント(トップカバー、コーヒー豆ホッパー100g、コーヒー豆ポップアップブロック)を取り外します。
→ P.12 …「ホッパーアタッチメントの取り外し」参照
ホッパーとホッパーアタッチメントを、該当する章に記載されている手順に従って清掃します。
→ P.19 …「ホッパーとホッパーアタッチメントのクリーニング」参照



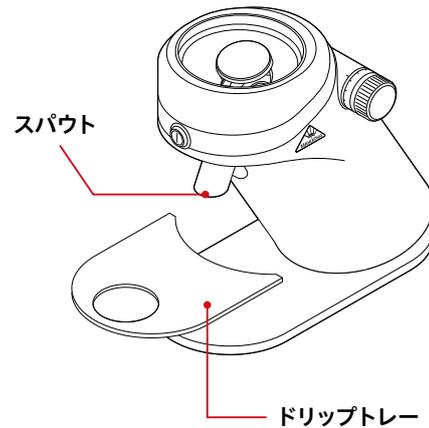
例) グライNDER本体にコーヒー豆ポップアップブロックが装着されている場合

- 3 スパウトを軽く上方向に押し、時計回りに回した後、下方向に引き抜いて取り外します。スパウトおよびホルダーは、該当する章の説明に従って清掃します。

→ P.18 …「スパウトのクリーニング」参照

ブラシでグラインダーの以下の部分を清掃します。

- 4 ドリフトレーをグラインダーから前方に引き出します。
- 5 グラインダー本体およびドリフトレーを湿らせた布で拭き取ります。
- 6 その後、グラインダーおよび清掃したすべての部品を乾いた布で拭きます。
グラインダーおよび取り外したすべての部品は、再使用する前に完全に乾燥させてください。
- 7 清掃のために取り外した部品（トップカバー、コーヒー豆ホッパー100g、コーヒー豆ポップアップブロック、スパウト、ドリフトレー）を元の位置に正しく取り付けます。

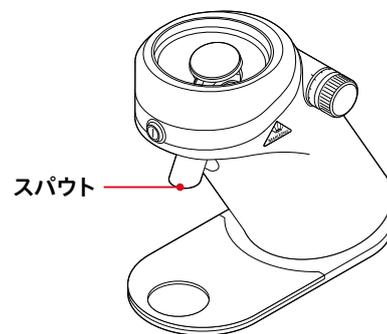


7.4 スパウトのクリーニング



スパウトは週に1回(または必要に応じて)清掃する必要があります。
メーカーは、スパウトの清掃にはナイロンブラシを使用することを推奨しています。

- 1 スパウトを軽く上方向に押し、時計回りに回した後、下方向に引き抜いて取り外します。
- 2 ブラシを用いてグラインダーのスパウトを清掃します。
- 3 スパウトは湿った布で清掃し、その後乾かします。
- 4 スパウトをグラインダー本体に挿入します。
スパウトがロックされるまで慎重に奥まで押し上げます。
グラインダー本体にスパウトが装着されます。



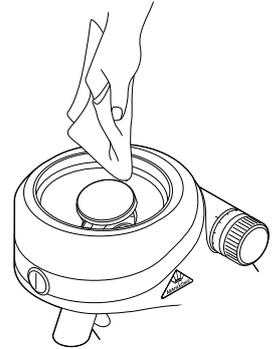
スパウトの表面を傷つけないように注意してください。
細かい引っかき傷は、コーヒーの粉が引っかき傷に付着し、豆挽き結果に悪影響を及ぼし、豆の量にばらつきが生じる可能性があります。

7.5 ホッパーとホッパーアタッチメントのクリーニング



ホッパーと使用されるホッパーアタッチメントは、コーヒー油の残留物が風味に影響する場合がありますため、週に1回(または必要に応じて)定期的に清掃してください。

- 1 電源プラグをコンセントから抜いてください。ホッパーアタッチメントを上方向に引き抜いてホッパーから取り外します。
→ P.12 …「ホッパーアタッチメントの取り外し」参照
- 2 ホッパーとフィンガーブロックを、少し湿らせてよく絞った布で拭きます。
- 3 ホッパーアタッチメントを温水で洗います。必要に応じて中性洗剤を使用してください。
- 4 ホッパーと清掃したホッパーアタッチメントを乾燥させます。ホッパーとホッパーアタッチメントは、再使用する前に完全に乾燥させてください



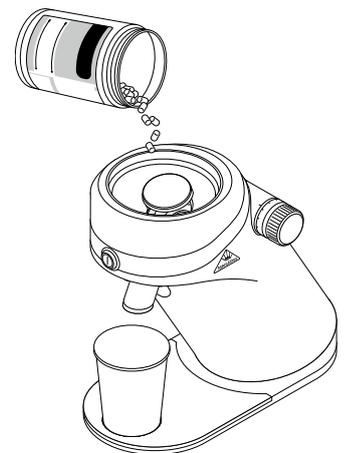
ホッパーからその下にあるグラインド機構内に液体が入らないように注意してください。*

7.6 グライNDER内を洗剤で清掃する



グラインダーは2~5日毎に清掃する必要があります。メーカーは、グラインダー洗剤の使用を推奨しています。詳しくは、www.melitta.co.jpをご覧ください。

- 1 必要に応じて、ホッパーからホッパーアタッチメントを取り外します。
→ P.12 …「ホッパーアタッチメントの取り外し」参照
- 2 グラインダー洗剤をホッパーの上部から直接注ぎ入れます。使用するグラインダー洗剤のメーカーの指示に従ってください。
- 3 コーヒーコンテナに飛散防止用ファンネルを装着してスパウトの下に置き、グラインダー洗剤を回収します。
- 4 グラインダー洗剤で豆挽きを開始します。→ P.14 …「豆挽きの開始」参照
- 5 停止します。→ P.14 …「豆挽きの停止」参照
- 6 残っている洗剤の薄片を取り除くため、先のグラインダー洗剤と同じ分量のコーヒー豆を挽いてください。
- 7 グラインダー洗剤および挽いたコーヒー豆は、可燃物として処分してください。



グラインダー洗剤が完全に粉碎されるまでグラインダーを作動します。*

*本体を清掃する間隔は、お客様の使用状況などによって異なります。頻繁に使用される場合は、少なくとも週に1回は本体を清掃してください。

*ホッパーを清掃する間隔は、お客様の使用状況などによって異なります。頻繁にホッパーを使用される場合は、毎日清掃するのが最善です。

9 トラブルシューティング

問題点	原因・解決策
グラインダーが挽きを開始しない。	電源プラグがコンセントに差し込まれていません。 電源プラグを適切に設置されたコンセントに差ししてください。
グラインダーから音はするが、挽きが行われていない。	ブレーカーが落ちています。 家の分電盤のブレーカーを確認してください。必要に応じてブレーカーを元の状態に戻してください。このブレーカーに他の負荷が接続されていないか確認し、接続されている場合は外してください。ブレーカーが何度も落ちる場合は、メリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。 グラインドディスクが摩耗し、挽く部分の材質が劣化しています。 グラインドディスクの交換が必要です。メリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。 グラインダー本体にコーヒー粉が詰まっている可能性があります。／挽かれた豆が細かすぎます。 <ol style="list-style-type: none">1. スパウトをきれいにしてください。 → P.17…7.3「本体のクリーニング」参照2. 挽き目調整ダイヤルを最大値に設定します。 → P.13…5.3「挽き目の調整」参照3. 挽きを開始します。 → P.14…5.4「豆挽きの開始」参照4. 続いて、操作時の目的の挽き目にグラインダーを設定します。
	グラインダー内に異物が入っています。 メリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。
グラインダーの挽きの細かさが十分ではない。	グラインドディスクが摩耗しているか、再調整が必要です。 メリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。 グラインドディスクの0点調整をする必要があります。 グラインドディスクの0点調整を行ってください。
豆挽きを 작동してもコーヒー豆が挽かれない、コーヒー粉がコーヒーコンテナに落ちて来ない。	グラインダーの入り口前にコーヒー豆が詰まっています。／コーヒー豆が落下しない状態です。 グラインダーを清掃してください。 → P.17…7.3「本体のクリーニング」参照
グラインダーがコーヒーコンテナの中央に抽出しない。	スパウトが詰まっています。 スパウトを清掃してください。 → P.18…7.4「スパウトのクリーニング」参照
ホッパーアタッチメントが装着できない。 挽き目調整ダイヤルが回らない。	ホッパーの内側またはアタッチメントの外側にコーヒー粉や小さな豆の粒子が付着しています。 ホッパーとホッパーアタッチメントを清掃してください。 → P.19…「ホッパーとホッパアタッチメントの清掃」参照
グラインダー計量精度が低下している。	スパウトが詰まっています。／グラインダー内部に挽きすぎたコーヒーが沈殿しすぎています。 <ol style="list-style-type: none">1. スパウトを清掃してください。 → P.18…7.4「スパウトのクリーニング」参照2. 挽き目調整ダイヤルを最大値に設定します。 → P.13…5.3「挽き目の調整」参照3. 豆挽きを開始します。 → P.14…5.4「豆挽きの開始」参照4. 続いて、操作時の目的の挽き目にグラインダーを設定します。5. 豆挽きを中止します。 グラインダーのスパウトが損傷しています。 メリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。

10 メンテナンスと修理

- 注意**  ●修理には専門的な知識と技術が必要です。誤った修理は火災や感電などの危険な事故につながりますので、お客様ご自身による修理はおやめください。
- メンテナンスや修理を実施する際は、必ずコンセントから電源プラグを抜いてから実施ください。定期的にマシンの電源プラグ、グラインダー本体などにダメージがないかをご確認ください。
- グラインダーのパフォーマンスが低下し、挽いた粉の温度が高い場合は、グランドディスクの交換が必要な場合があります。ディスクの交換はメリタジャパンお客様相談室にご相談ください。

- !** ●P.21「トラブルシューティング」の一覧表をお調べいただいてもなお異常がある場合は、事故防止のためグラインダーの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、メリタジャパンお客様相談室にご連絡ください。その際、品名とお買い上げ時期をお知らせください。
- P.23に記載している本製品の別売品に関して、修理時に別途ご請求する可能性がありますのでご了承ください。

メリタジャパンの安心・安全な修理サービスのご案内

弊社にて修理を行う際は、お客様ご自身が修理機の一時保管場所を確保したり、自ら梱包して玄関先まで運ぶ必要はありません。修理が終わったグラインダーはお届けの際に設置場所に設置させていただきます。グラインダーをお預かりしてご返却するまでの間、以下の手順で安心安全に取り扱います。北海道・本州・四国・九州・沖縄本島を除く離島はサービス対象外となります。サービス対象エリアかどうかご不明な場合には、メリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。

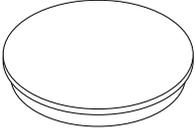
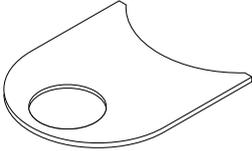
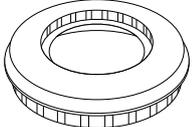
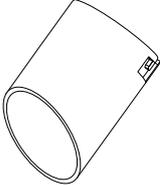
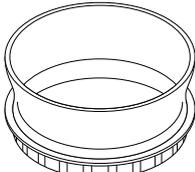
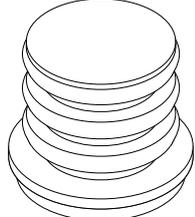
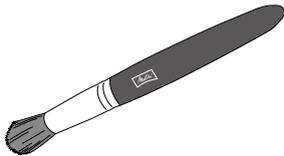
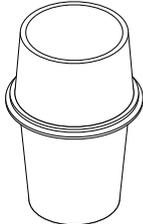
修理機のお引き取り手順

- 1 修理のご依頼はメリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。修理受付・修理機をお引き取りする日時を確認させていただきます。
- 2 メリタジャパンテクニカルセンターからお客様にご連絡をさせていただき、不具合の箇所をお聞きしてグラインダーのお引き取りの手配を進めます。
- 3 お引き取り日までに、グランドディスクとホッパーの間に残っているコーヒー豆を挽き切ってください。ホッパーに残っているコーヒー豆は、ホッパーを取り外して保管をお願いします。
- 4 修理機のお引き取り日当日、弊社指定のアートセッティングデリバリー株式会社からお客様にお引き取りに伺う時間帯をご連絡させていただきます。
- 5 弊社指定のアートセッティングデリバリー株式会社では、梱包資材を持参し、グラインダーを設置場所から降ろし、安全に梱包して運び出します。配送員が梱包している間に配送伝票の記載をお願い致します。

修理完了後のご返却手段

- 1 弊社からお客様に修理完了の旨をご報告し、グラインダーのご返却手続きをさせていただきます。
- 2 弊社指定のアートセッティングデリバリー株式会社がお預かりしたグラインダーのご返却に伺います。ご不在時には再配達させていただきます。
(早朝・深夜の時間帯、ご希望に添えない時間帯がございますのでご了承ください)
- 3 アートセッティングデリバリー株式会社では、ご返却の際、グラインダーをご希望の設置場所に設置し、梱包資材を回収させていただきます。

11 別売品

<p>トップカバー 品目コード 48233</p>		<p>ドリップトレイ 黒 品目コード 48238 ドリップトレイ 白 品目コード 48295</p>	
<p>コーヒー豆ポップ アップブロック 品目コード 48234</p>		<p>スパウト 品目コード 48239</p>	
<p>コーヒー豆ホッパー 100 g 品目コード48235</p>		<p>グラインダー クリーン 450 g 品目コード 46377</p>	
<p>エアダスター コーヒー粉残り除去 品目コード 48236</p>		<p>クリーニングブラシ 品目コード 37459</p>	
<p>コーヒーコンテナ/ 飛散防止用ファンネル 品目コード 48237</p>			

12 保証規定(保証書)

- この商品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための必要な部品)は製造打切後、最低5年間保有しています。
- 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様ののご要望により有料修理いたします。そのほか詳細は保証書をご覧ください。

保証規格

- お客様の正常なご使用状態で、保証期間中(お買い上げ日より1年間)に故障した場合は、無料修理させていただきます。その際、商品と本書をご持参・ご提示のうえ、お買い上げ販売店またはメリタジャパンお客様相談室にご依頼ください。
- 次のような場合には保証期間内でも有料修理になります。
 - イ)使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障および損傷
 - ロ)お買い上げ後の移動、設置、落下、あるいは輸送による故障および損傷
 - ハ)火災、塩害、ガス害、異常電圧、および地震、雷、風水害、その他の天災地変などによる故障および損傷
 - ニ)本書のご提示がない場合
 - ホ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書きかえられた場合
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan

修理メモ

- ご転居の際は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで、本書に記入されたお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、メリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。

※この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはメリタジャパンお客様相談室へお問い合わせください。
※アフターサービスと保証についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはメリタジャパンお客様相談室へご相談ください。

ナビダイヤル  0570-550267

※通話料はお客様負担となります。
[受付時間]9:00~12:00/13:00~17:30 ※土・日・祝日・年末年始は除く
®Registered trademark of a company of the Melitta Group

保証書

この商品には「保証書」が付いています。

- 保証対象は本体のみです。
- 保証書は販売店からお渡しいたします。必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みになったうえで大切に保管してください。
- 万一、故障したときは、保証書記載内容により、保証期間内はお買い上げの販売店が取り継ぎ無料修理いたします。
※電気系統の故障以外(破損など)は保証対象外です。

品名 ホームグラインダーX64 SD	
お買い上げ年月日	保証期間 本体 1年
年 月 日	
お客様	〒
ご住所	TEL()
フリガナ	
ご指名	
販売店	★この欄に販売店によるご記入がない場合は無効となりますので必ず記入の有無と捺印をご確認ください。
店名	
住所	TEL() 印

販売店様へお願い

保証書に必ずご購入日、貴店名、住所、電話番号をご記入のうえ、お客様にお渡しください。

販売店 **メリタジャパン株式会社**

 Melitta®
メリタジャパン

●この保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内の修理やその後のアフターサービスに利用させていただく目的から記録に残す場合がありますのでご了承ください。 ●修理や配送を当社から協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供することはありません。

